



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月20日

上場会社名 株式会社 エンプラス 上場取引所 東
 コード番号 6961 URL http://www.enplas.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画管理本部 (氏名) 星野 清孝 TEL 03-6268-0259
 グループフィナンシャルオフィス 部門長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	8,464	11.0	1,307	35.5	1,288	57.6	1,003	34.4
29年3月期第1四半期	7,629	△21.1	964	△64.8	817	△70.8	746	△61.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,058百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △903百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	78.38	-
29年3月期第1四半期	58.32	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	56,518	51,353	90.6	4,000.73
29年3月期	55,249	50,783	91.7	3,958.65

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 51,197百万円 29年3月期 50,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	40.00	-	40.00	80.00
30年3月期	-				
30年3月期(予想)		40.00	-	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	△2.5	1,700	△18.5	1,700	△10.7	1,200	△65.9	93.77
通期	32,000	△3.0	4,000	△3.7	4,000	△1.9	2,800	△45.7	218.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	18,232,897株	29年3月期	18,232,897株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	5,435,965株	29年3月期	5,435,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	12,796,932株	29年3月期1Q	12,797,075株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成29年7月20日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては6月に利上げが実施され、設備投資の回復には一服感が見られるものの個人消費が底堅く、企業の景況感は堅調に推移しました。中国ではインフラ投資が拡大し、また、輸出が持ち直す一方で、住宅市場には引き続き過熱感が見られます。新興国・地域においては各国で資本流入が見られたことで、株式市場は活況を呈し、また、雇用や物価の安定により消費者マインドには改善が見られます。わが国経済は、欧米を中心に輸出が回復し、設備投資も堅調に推移しました。また、インバウンド需要にも持ち直しの兆候が見られます。一方で先進国におけるポピュリズムの台頭や不安定な朝鮮半島情勢、国内における人手不足の顕在化など、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、更なる成長を目指すため、以下を今期の経営基本方針とし、グローバル競争の激化を始めとする当社を取り巻く環境の変化に迅速に対応することで企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指してまいります。

1. Operational Excellence/経営基盤・事業基盤の強化
2. Specification Technology/スペックビジネスの推進
3. Multiple Growth/多様な成長戦略の実行

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,464百万円（前年同期比11.0%増）となり、営業利益は1,307百万円（前年同期比35.5%増）、経常利益は1,288百万円（前年同期比57.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,003百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「エンプラ事業」

自動車用部品は、米国自動車市場に頭打ち感が見られましたが、国内顧客向けの販売が底堅く、海外における新規顧客の開拓も進展しました。プリンター用部品は、主要顧客の製品増産の影響や海外市場における好調な販売を受けて堅調に推移しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,286百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント営業利益は33百万円（前年同期は18百万円のセグメント営業損失）となりました。

「半導体機器事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは車載用途が引き続き好調に推移したことに加え、主要顧客からの受注も拡大しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,194百万円（前年同期比55.3%増）、セグメント営業利益は693百万円（前年同期比217.3%増）となりました。

「オプト事業」

光通信関連の光学デバイスは、サーバー市場における高速通信規格の浸透により高付加価値製品の販売が伸長しました。LED用拡散レンズは、市場の競争激化による単価下落および主要顧客における生産調整の影響を強く受け、低調に推移しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,983百万円（前年同期比21.2%減）、セグメント営業利益は580百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は56,518百万円となり、前連結会計年度末比1,269百万円の増加となりました。流動資産につきましては1,596百万円減少しました。主な変動要因は受取手形及び売掛金で828百万円、原材料及び貯蔵品で233百万円増加したものの、現金及び預金で2,806百万円減少したことによるものです。固定資産につきましては2,866百万円増加しました。主な変動要因は有形固定資産で504百万円、無形固定資産で2,428百万円増加したことによるものです。

負債は5,165百万円となり、前連結会計年度末比で699百万円の増加となりました。流動負債につきましては733百万円増加しました。主な変動要因は買掛金で274百万円、その他で712百万円増加、賞与引当金で262百万円減少したことによるものです。固定負債につきましては34百万円減少しました。主な変動要因はその他で30百万円減少したことによるものです。

純資産は51,353百万円となり、前連結会計年度末比569百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金で491百万円増加したことによるものです。その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は90.6%となり、前連結会計年度末比で1.1ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月20日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,686	22,879
受取手形及び売掛金	7,022	7,851
有価証券	200	200
製品	766	838
仕掛品	513	462
原材料及び貯蔵品	1,115	1,349
未収還付法人税等	595	829
その他	1,541	1,434
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	37,434	35,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,931	3,325
機械装置及び運搬具(純額)	2,149	2,195
土地	6,716	6,794
その他(純額)	1,090	1,077
有形固定資産合計	12,888	13,393
無形固定資産		
ソフトウェア	461	424
のれん	102	2,564
その他	4	7
無形固定資産合計	568	2,996
投資その他の資産	4,358	4,291
固定資産合計	17,815	20,681
資産合計	55,249	56,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,141	1,415
未払金	613	926
未払法人税等	297	349
賞与引当金	585	322
役員賞与引当金	58	16
その他	906	1,305
流動負債合計	3,602	4,335
固定負債		
退職給付に係る負債	25	27
役員退職慰労引当金	15	11
訴訟損失引当金	456	455
その他	366	335
固定負債合計	863	829
負債合計	4,465	5,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	7,569	7,569
利益剰余金	48,223	48,714
自己株式	△13,989	△13,989
株主資本合計	49,884	50,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	386
為替換算調整勘定	379	404
退職給付に係る調整累計額	40	30
その他の包括利益累計額合計	774	821
非支配株主持分	74	75
新株予約権	50	80
純資産合計	50,783	51,353
負債純資産合計	55,249	56,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,629	8,464
売上原価	3,945	4,332
売上総利益	3,683	4,132
販売費及び一般管理費	2,718	2,825
営業利益	964	1,307
営業外収益		
受取利息	9	12
受取配当金	8	9
スクラップ売却益	11	12
その他	29	24
営業外収益合計	58	58
営業外費用		
固定資産賃貸費用	6	4
持分法による投資損失	122	44
為替差損	68	25
その他	9	4
営業外費用合計	205	77
経常利益	817	1,288
特別利益		
固定資産売却益	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産売却損	8	1
特別損失合計	8	1
税金等調整前四半期純利益	812	1,287
法人税、住民税及び事業税	181	225
法人税等調整額	△121	49
法人税等合計	60	275
四半期純利益	751	1,012
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	746	1,003

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	751	1,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	32
為替換算調整勘定	△1,560	26
退職給付に係る調整額	△10	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	△36	△2
その他の包括利益合計	△1,655	45
四半期包括利益	△903	1,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△903	1,050
非支配株主に係る四半期包括利益	0	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。